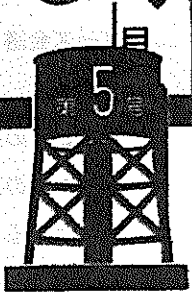


水と土の芸術祭市民サポーターズ会議

みずっちたんく がわらばん



水と土の芸術祭
Niigata Water and Land Art Festival
2009 2009年7月18日(土) ~ 12月27日(日)

発行: 水と土の芸術祭市民サポーターズ会議事務局 みずっちたんく
〒950-0123 新潟市江南区亀田水道町2-4-3 (旧亀田浄水場)
TEL 025-384-0926 FAX 025-384-0927 E-MAIL tank@mizu-tsuchi.jp
開所時間 13:00~19:00 月曜日休館 (芸術祭会期中は無休)
水と土の芸術祭オフィシャルホームページ <http://www.mizu-tsuchi.jp>

水と土の芸術祭 投票

水と土の芸術祭開催まであと **40日**

作家さん? どんな人??
どうやってつくっているの??
アート作品って?

そんな疑問には、作家さんと会うのが一番!!

作家さんに会いに行こう!!

作品制作のため、今、多くの作家さんが新潟を訪れています
— 作家さんに会うための3つの方法 —

公開制作を見に行こう

方法
その1

作品をつくらせているところを 実際に見せてくれる作家さんがいます。

公開制作をしているところ

新潟市美術館: プレバントの期間中、山口啓介さんが巨大な“絵巻地図”を描いています。
みずっちたんく: “つきぎきまんづき”の岸本真丸さんが“食器”を“なまき”あわせた作品をつくらせています。

方法
その2

ワークショップに参加しよう

※ ここでの“ワークショップ”とはアート作品の制作体験教室のことです。
プレバント期間中はもちろん、芸術祭期間中も多数開催予定!!
詳しくは、美術館プレバントチラシ、芸術祭公式HPまたはみずっちたんくまで。

あなたの作品が
会期中に展示
されるかも!!!

方法
その3

井戸端会議で 作品制作のお手伝いをしよう

作家さんと一緒に、芸術祭の作品を作りますか??
作品が“できあがり”していく様子を見ることが出来ます。 → 裏面のインフォメーションをご覧ください

水と土の芸術祭 2009 プレバント

ニガタのタカラアツマレ X イキング ~ 収集・整理・展示・ワークショップ ~

2009年6月13日(土) ~ 7月5日(日) 月曜休 9:30~18:00 (土曜日は20:00まで) 入場無料

イベント①
コナート

「水と土・音楽のタバ」 毎週 土曜日 (6/13・6/20・6/27・7/4) 18:30~

北越銀行古町支店前

イベント②
パネル

「魚網車、ロード@古町 & 交流会」 申込不要 7月5日(日) 15:00に古町6番町へお越し下さい。

暮らしの壮大なロマンを瞬間的に見せるアートのちから

5月16日、新潟市民プラザで「スタンバイみずつち～拡大サポーターズ会議&講演会」が行われました。

講演は、「大地の芸術祭」では毎回壮大な作品を制作し、今回の、「水と土の芸術祭」にも参加されるアーティスト・磯辺行久さん。

「大地の芸術祭」では、最初に地域資産の目録をつくり、貸借対照表をつくるようにプラスの資産もマイナスの資産も洗い出した結果、越後妻有で最も重要な資産は「信濃川」でした。古い地図と現在の地図を重ね合わせ、綿密な取材も行って川の流れの変化を調べ、最も重要な資産「信濃川」の変化でその地域の文化や歴史を浮かび上がらせようとする試み。これは、昔の川の流に沿って、青々とした田んぼに、5m間隔で黄色いポールを立てていった作品「川はどこへいった」になりました。地元の人が風の向きがわかるようにポールに旗をつけたところ、風は見事に昔の川の流れと同じに吹いていたそうです。

風は川を憶えていた…ロマンチックです！！

また、曲がりくねった川をまっすぐに直し、もとの川の場所を田んぼに替える「瀬替え」（江戸時代から昭和中期まで行われていた人力の土木工事）にスポットを当てた「農舞楽回廊」では、洪水防止と耕地確保に絡んでいた歴史を見せてくれました。

なんとという壮大さ！その地域の暮らしや文化を感覚的に瞬時に見せるーこれこそ、北川フラムさんが言うアートの意義なんですね。



磯辺さんは、市内4カ所で作品を制作する予定です。越後妻有と同じ信濃川が運んだ水と土でできた土地で培った暮らしや文化がある新潟をどんなカタチで見せてくれるのかとても楽しみです。

（文責 市民サポーター 白井健一）

水と土の芸術祭参加の作家さんってどんな人？
そうだ、作家さんにきいてみよう！

「新潟には何處も読んでいるけれど、「ほろほろ焼」は知りませんでした」
北澤潤さん
(みなとでがん付近に舟を浮かべた生活を楽しみます)

「西区の小針にあるラーメン屋さんのカレーラーメンのセットが素敵です」
(本店の名前は、ぜひ、作家さんに聞いてみて下さいね！)
北川貴好さん
(砂浜に何千ものタイヤでガーデンをつくります)

このかわらばんは7/18～12/27まで新潟市で開催される「水と土の芸術祭」を応援する市民サポーターズが広報紙です。

みずつちたんく 常駐員がふえました！

みずつちたんくに新たに
加わりました大野です。
目下たんくでスプライスロープ
を作成中です！是非みな様
たんくへお越し下さい！



390体割りに
なりました！！

おおの

ちばら さいとー

スタンバイみずつち
インフォメーション

参加者募集中
各イベントサポーター募集中

サポーターズ会議！
今週、会期前のサポーターズ会議は最後です！
日時：6月14日(日) 18:30～20:30
場所：新潟市美術館
北川フラムディレクターと、作家の松宮喜代勝さん(作品は中央区鳥屋野島公園に設置されます)が参加します。

情報収集は美術館へ！
水と土の芸術祭の展示会場でもある、新潟市美術館と新津美術館に、芸術祭の情報コーナーができました！

サポーター募集中！
芸術祭のサポーターも募集しています。
サポーターになって、一緒に芸術祭を盛り上げませんか？
サポーターの活動内容は、ワークショップや作品制作のお手伝い、会期中の作品の看視、広報活動やPR活動…などなど、多種多様です！
ぜひ、あなたなりの関わり方をみつけて下さいね。
サポーターに関するお問い合わせは、みずつちたんくへどうぞ！！
みずつちたんくは、芸術祭を応援する市民有志(サポーター)の集まり「市民サポーターズ会議」の事務局の愛称です。

「かわらばん みずつちたんく」を置いてください！
6号は7月5日発行予定

この「かわらばん、みずつちたんく」はサポーターの活動の応援だけでなくあなたの方にも読んでいただくための、応援していただける場内を創出中！！是非読んでいただけるように、「みずつちたんく」へご連絡ください！

「かわらばん、みずつちたんく」を置いてください！

「パスポート」発売中！
くわしくはホームページをごらんください。